

背景・目的

去年コウモリについて調べ、場所や季節によってコウモリの数が変わると分かりコウモリがいつまでいるか・いつ多くなるのか気になったから。

研究方法 と調査場所

- ・45kHzの音を捉えるように設定した、バッドディテクター(人間には聞こえない超音波聞こえるようにする機械)を使い、去年コウモリの多かった黒川と環境が変わった自宅近くのコウモリの増減を調べる。
- ・45kHzに設定するのは、去年45kHzで多くコウモリの超音波を捉えたため。

結果

<黒川>



▲ 調査を行った場所の写真 ▲

5月・6月

- ・田植えが始まった。
- ・コウモリが増えた。

7月

・7月26日に鳥追いの銃声をした。その日は、コウモリが少なかった。
ただし鳥追いの銃声をしたことと、コウモリが少なかったことに何か関係があるのかはわからない。

9月

- ・稲刈りが始まった。
- ・コウモリが少しずつ減ってきた。

10月

- ・コウモリが田んぼの方で飛ばなくなり、住宅地の中で飛ぶようになった。
- ・気温は変わらないが、住宅地の中の方が田んぼの方より温かく感じる。

11月・12月

- ・コウモリが飛ばなくなった。
- ・コウモリが確認できなくなったので、調査を終わりにした。

各月のコウモリが確認できた平均時間

月	平均時間 (分)
5月・6月	22.8
7月	31.5
8月	33.3
9月	29.3
10月	30
11月・12月	6.7
調査期間全体	25.9

〈自宅近く〉



▲調査した場所の写真

- ・ 去年まで駐車場だったところが畑になった。(丸で囲った場所)
- ・ 目視でだが、去年よりコウモリが増えたように思う。

10月～12月

- ・ 11月に入りコウモリが飛ばなくなった。
- ・ コウモリが確認できなくなったので、調査を終わりにした。

各月のコウモリが確認できた平均時間

月	平均時間 (分)
6月	16
7月	19.3
8月	31
9月	29
10月～12月	6
調査期間全体	19.8

考察

- ・コウモリの出没時刻は日没時間に左右され、日没時間が早くなるとコウモリの出没時刻も早くなる。
- ・コウモリの活動時間は夏の間で、だいたい 30 分前後で、冬になるにつれて活動時間が短くなる。又、寒くなるにつれて、コウモリの数が減った。理由の 1 つとして、コウモリの餌である蚊などの虫が減るからだと考えられる。
- ・調査期間全体ではコウモリの活動時間は平均 23.3 分。
- ・曇りの日・雨の日は比較的早くコウモリが現れる。
- ・不思議なことに電線の間は飛ばない。
- ・コウモリの発する周波数や観測できた場所から、確認できたコウモリはアブラコウモリだと思われる。

まとめ

- ・コウモリは暑くなるにつれて多くなり、寒くなると減少し 12 月頃には活動しなくなる。
- ・コウモリの活動開始時刻は、日没時間に左右される。